

# MRA ハイブリッド導入の設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[ハイブリッド サービス検出フロー](#)

[DNS 要件](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[Expressway C/E の設定](#)

[WebEx の設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[電話サービス アイコンが Jabber に表示されない](#)

[電話サービスが接続できない](#)

## 概要

このドキュメントでは、ハイブリッド Mobile and Remote Access ( MRA ) 導入環境を設定する方法と、この導入環境で発生する可能性のある問題のトラブルシューティング方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始して

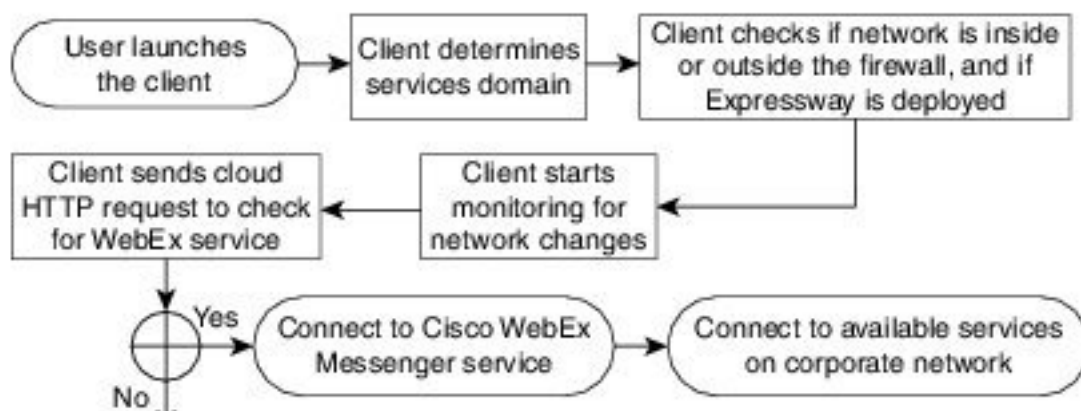
います。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 背景説明

ここでは、このドキュメントで説明する手順で役立つ背景情報を説明します。

### ハイブリッド サービス検出フロー

これは、『[Cisco Jabber DNS 設定ガイド](#)』で説明するハイブリッド サービス検出フローです。



Cisco Jabber は、Cisco WebEx Messenger for Instant Message and Phone ( IM&P ) サービスへのログインすると、ユーザが Cisco Unified Communications Manager ( CUCM ) クラスタに関連付けられているかどうかを確認します。ユーザが CUCM クラスタに関連付けられており、*voiceservicesdomain* または WebEx Messenger ドメインの *\_collab-edge* サービス ( SRV ) レコードが検出される場合、Jabber クライアントは、設定されている CUCM クラスタから *\_collab-edge* クエリで示された Cisco Expressway を介して電話サービスを取得しようとします。

## DNS 要件

MRA ハイブリッド導入環境での唯一のドメイン ネーム システム ( DNS ) 要件は、*collab-edge.\_tls.<domain>* SRV レコードが外部 DNS サーバで作成されており、ポート 8443 の Expressway-E 外部 IP アドレスを指し示していることです。

*\_cuplogin.\_tcp.<domain>* SRV レコードを内部で作成する必要はありません。*\_cisco-uds.\_tcp.<domain>* を作成することをお勧めします。これにより、Expressway-C が、MRA を通じて登録された Jabber クライアントのホーム クラスタを検索できます。

「[Cisco Jabber DNS 導入ガイド](#)」には次のような説明があります。

ハイブリッド導入環境では、CAS ルックアップによる Cisco WebEx ドメインの検出に必要なドメインと、DNS レコードが配布されるドメインが異なる場合があります。このような場合は、Cisco WebEx の検出に使用されるドメインとして *ServicesDomain* を設定し、DNS レコードが配布されるドメインとして *VoiceServicesDomain* を設定します。音声サービス ドメインは、次のように設定されます。

- クライアントが、設定ファイルの VoiceServicesDomain パラメータを使用。このオプションは、jabber-config.xml ファイルをサポートしているクライアントで使用できます。
- ユーザが、VoiceServicesDomain を含む構成 URL をクリック。このオプションは、次のクライアントで使用できます。Cisco Jabber for Android バージョン 9.6 以降Cisco Jabber for Mac バージョン 9.6 以降Cisco Jabber for iPhone and iPad バージョン 9.6.1 以降
- クライアントが、ブートストラップ ファイルの Voice\_Services\_Domain インストール スイッチを使用。このオプションは、次のバージョンのクライアントでのみ使用できます。  
Cisco Jabber for Windows バージョン 9.6 以降

詳細については、該当するバージョンの『インストールおよび設定ガイド』を参照してください。

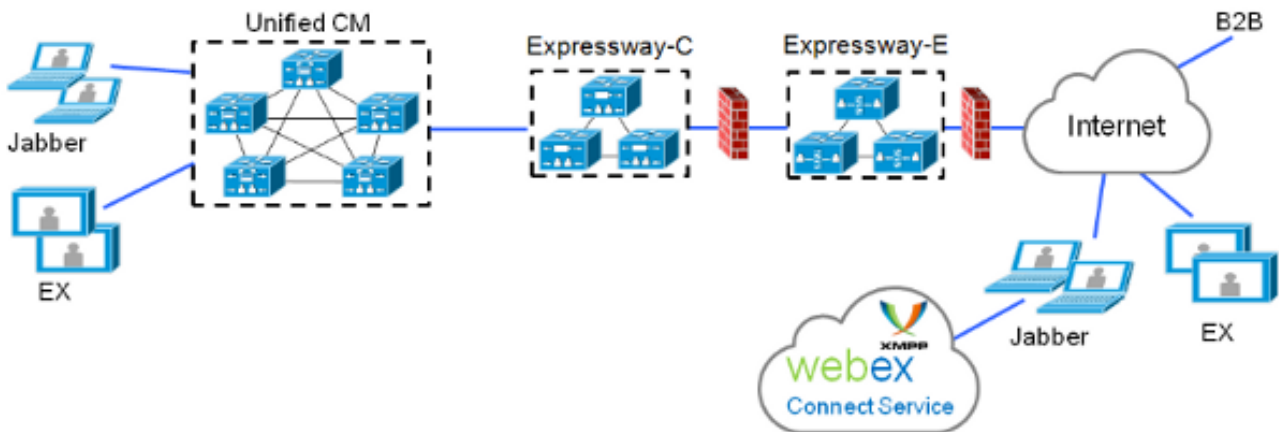
Cisco Jabber はサービス ドメインを取得した後、クライアント コンピュータまたはデバイスに設定されているネーム サーバをクエリします。

## 設定

ここでは、Expressway C および Expressway E の設定方法と、MRA ハイブリッド導入環境が適切に動作するように Cisco WebEx を設定する方法について説明します。

## ネットワーク図

クラウド ハイブリッド導入環境では次のネットワーク トポロジが使用されます。



## Expressway C/E の設定

MRA ハイブリッド導入環境が適切に動作できるようにするため、Expressway-C および Expressway-E で次の項目を設定する必要があります。

- ユニファイド コミュニケーション トラバーサル ゾーン
- 署名付きサーバ証明書
- MRA の有効化

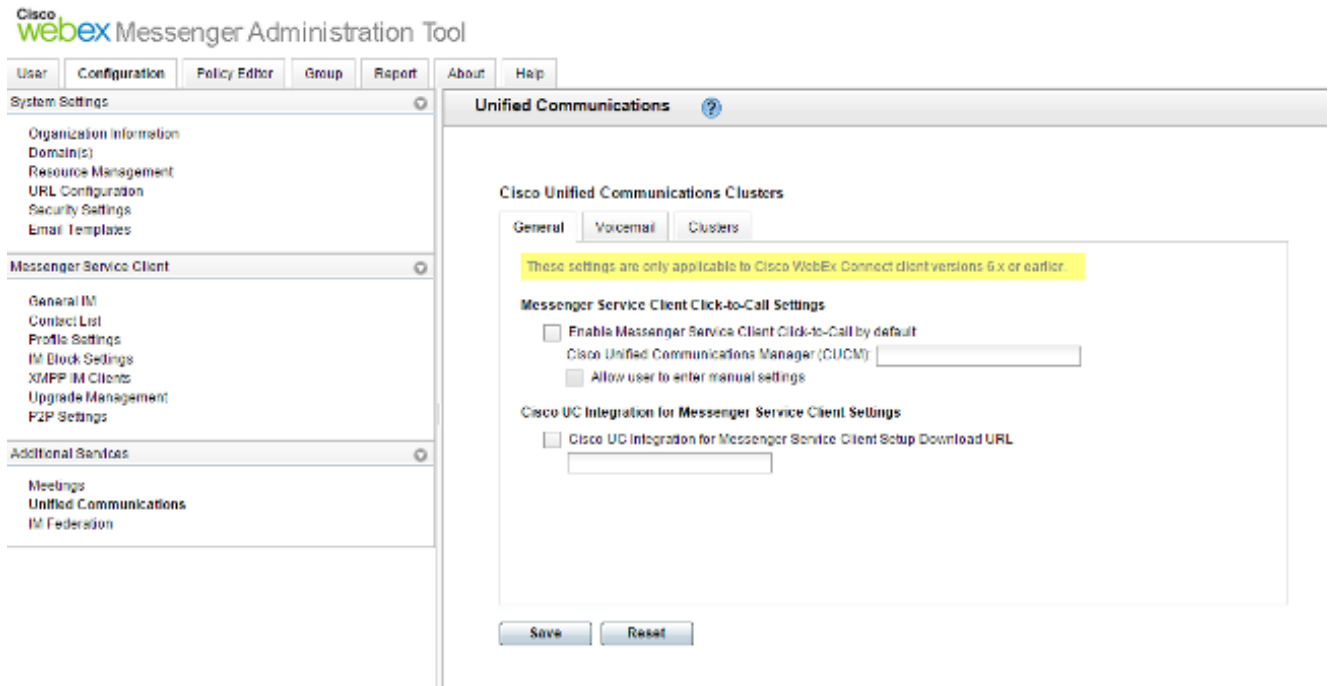
• CUCM サーバと Cisco Unity サーバ ( Expressway-C のみ ) の追加  
Expressway を設定し、ハイブリッド MRA 電話サービスに対応するように準備するため、『[Cisco Expressway 経由での Unified Communications Mobile and Remote Access の導入ガイド](#)』で説明する手順を実行します。

## WebEx の設定

WebEx Messenger Administration Tool の設定では、CUCM クラスタを作成し、その CUCM クラスタに各ユーザを割り当てる必要があります。

WebEx Messenger Administration Tool で CUCM クラスタを作成するため、次の手順を実行します。

1. [Cisco WebEx Messenger Administration Tool](#) にログインします。
2. [Configuration] タブをクリックします。




3. [Unified Communications] エリアの [Clusters] タブをクリックし、[Add] をクリックします。

## Cisco Unified Communications Clusters

General Voicemail Clusters

Filter: All

Cluster	Type	View Users
<input type="checkbox"/> <a href="#">CUCM with MRA</a>	Cisco UC Manager integration with Messenger Service Client	

4. [CUCM Cluster] ウィンドウで [Enable Cisco UC Manager integration with Messenger Service Client] オプション ボタンを選択します。
5. [Primary Server] フィールドに CUCM サーバの内部到達可能な IP アドレスまたはホスト名を入力します。この時点で、[Backup Server] フィールドにバックアップ IP アドレスまたはホスト名を追加することもできます。

注: 高度な導入環境では、( オプションで ) TFTP サーバの最大 3 つの IP アドレスまたはホスト名、Cisco Telephony Integration ( CTI ) サーバの 2 つの IP アドレスまたはホスト名、および CCMCIP サーバの 2 つの IP アドレスまたはホスト名を指定できます。

CUCM クラスタが作成されたら、そのクラスタをユーザに割り当てる必要があります。この操作は、カンマ区切り値 ( CSV ) 形式でのインポートとディレクトリの同期、または ( ここで説明する ) Web インターフェイスを使用して実行します。

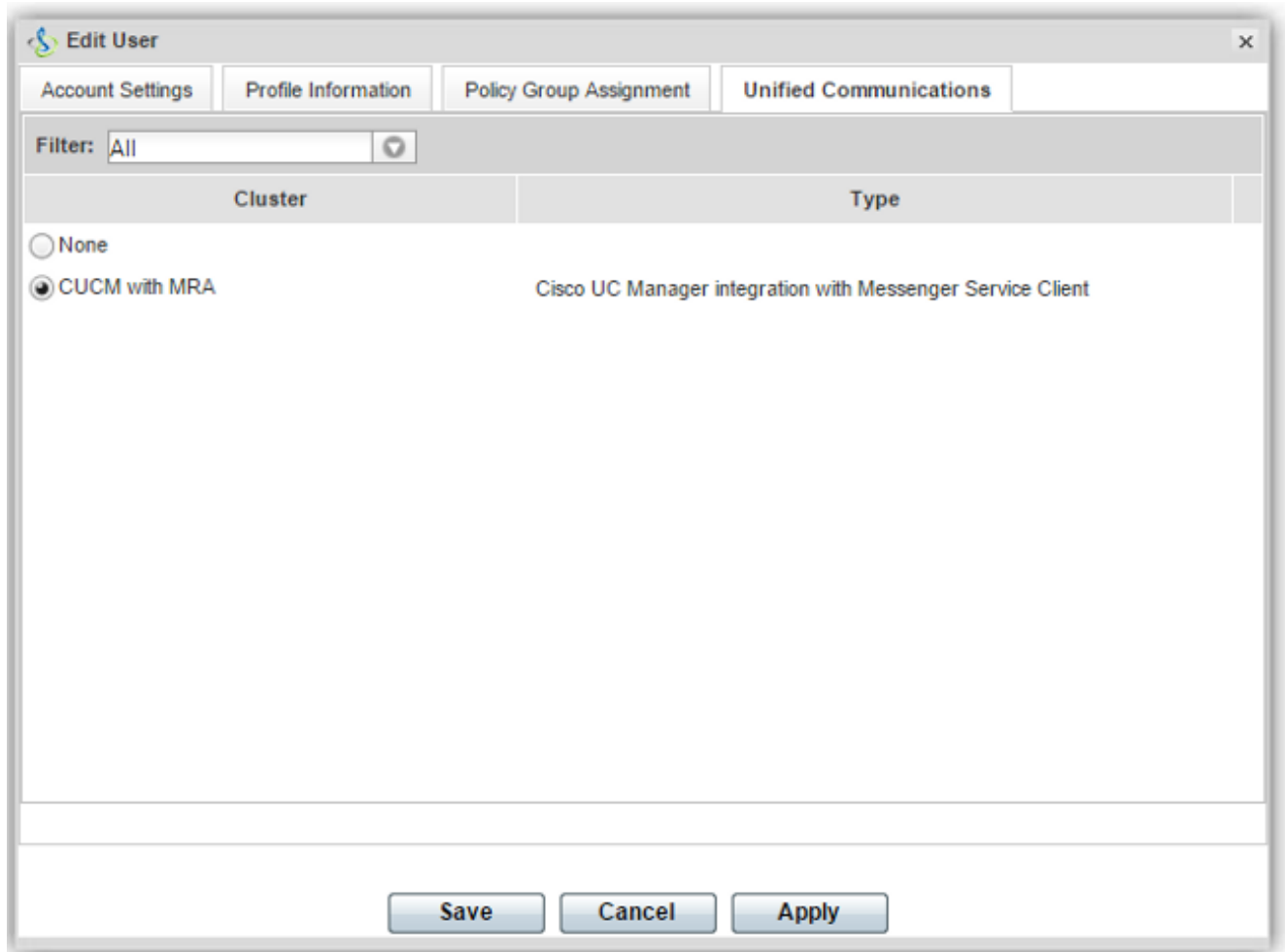
注: CUCM クラスタは、シングル サインオン自動アカウント更新または作成機能を使用して設定または変更することはできません。

Web インターフェイスでユーザを割り当てるには、次の手順を実行します。

1. *Org Admin tool* の [User] タブに移動し、ユーザを検索します。

First Name	Last Name
SSO	Test1
SSO	Test2

2. ユーザを編集し、[Unified Communications] タブに移動し、適切な CUCM クラスタを選択します。



## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

### 電話サービス アイコンが Jabber に表示されない

WebEx Messenger Jabber アカウントにサインインしても電話サービス アイコンが Jabber の下隅に表示されない場合、WebEx で CUCM クラスタがユーザ プロファイルに割り当てられていません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. WebEx Messenger 管理ポータルにサインインします。

2. [Users] に移動し、ユーザ アカウントを選択して [Edit] をクリックします。
3. [Unified Communications] タブに移動し、適切な CUCM クラスタを選択します。
4. Jabber からサインアウトしてから、サインインします。

## 電話サービスが接続できない

この問題が発生する場合は、「[Collaboration Edge で最も頻繁に発生する問題](#)」というシスコのドキュメントで、CUCM への電話機の登録が失敗する原因である同様の問題を確認してください。

。